

中学部活動ブロック単位

岡崎市、地域移行で段階的に

岡崎市は21日、市内中学校ごとに取り組んできた部活動について、生徒が学校の枠を超えて参加する「地域ブロック部活動」の形に整えることを決めた。学校管理下の部活動を地域に移行させるための一環で、今年から段階的に進めたい。（杉山真実美）

市は部活動の地域移行の1つとして「子ども活動」「選抜」の段階を提示し、7年以上おこなった。本年度からの3年間は「子ども」の移行期間を位置付け、設置している学校が徐々に部活動の形を整える。

市内28校を8ブロックに分け、部員数が多い競技は各ブロックに1つずつ、少ない競技は複数のブロックをまたいだ単位で1つずつおこなう形だ。各校の部活動を統合。最初は学校の管理下のまま、休日の活動のみをブロック単位で行う。

本年度は、市内に1校しかないアーチェリー部と弓道部を市全体で一つの部とし、8月から各校の1年生を対象に新人部員を受け入れた。来年度はソフトボール部とバレーボール部、柔道部、2025年度には陸上部や吹奏楽部などを含む12種類の部活動も、ブロック単位の活動に整えたい。

大会はブロック単位で出場するため、人数不足でチームを組めなかった学校の生徒も出場が可能だ。また、これまで自分の学校にはなかった競技の部活動にも参加できるようになる。

26年度からは、活動拠点や運営主体を学校から地域に移行していく。26～28年度の3年間で、ブロックの活動拠点を学校外の公共施設も選べるようになる。29年度からは、地域の運営主体の下で活動ができるようになる。

によるとする。

最終的には、平日も生徒たちが学校から帰宅した後、活動拠点に移動し、夜に部活動を行う形を想定。週1回以上の活動で、週3日は休ませている。会場がなかったり、家族による送迎が必要になったりする可能性があるため、市は今後、検討を進めたい。

安藤直樹教育委員は「大変な困難な挑戦。段階を踏んで、ゆっくりに確実に課題を解決し、子どもたちに負担がなくなるように地域移行していきたい」と語った。

学校管理下		活動の地域移行		運営の地域移行	
2023年度	24年度	25年度	26～28年度	29年度以降	地域移行
アーチェリー	(1)	(1)	(1)	(1)	
弓道	(4)	(4)	(4)	(4)	
ソフトボール男	(1)	(1)	(1)	(1)	
ソフトボール女	(2)	(2)	(2)	(2)	
野球男	(8)	(8)	(8)	(8)	
野球女	(8)	(8)	(8)	(8)	
陸上	(8)	(8)	(8)	(8)	
サッカー	(8)	(8)	(8)	(8)	
剣道	(8)	(8)	(8)	(8)	
ソフトテニス	(8)	(8)	(8)	(8)	
バレーボール	(8)	(8)	(8)	(8)	
卓球	(4)	(4)	(4)	(4)	
バドミントン	(2)	(2)	(2)	(2)	
吹奏楽	(2)	(2)	(2)	(2)	
合唱	(2)	(2)	(2)	(2)	
オーストラリアンフットボール	(2)	(2)	(2)	(2)	

岡崎市中学校部活動の地域移行